

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元年 6 月 19 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100256		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい戸坂		
所在地	広島市 東区 戸坂大上3丁目2-30 (電話) 082-229-2822		
自己評価作成日	令和 元年5月21日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100256-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和 元年 6月5日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用様が日々の生活を安心して送る事ができるよう生活の上での活動を援助している。又個別にてその方らしい生活が健康に送れるよう身体状況について職員全員が把握し看護師、医師との連携をとり的確な対応が行えている。ご家族様への連絡、報告も速やかに行っている。地域に根ざした事業所づくりを目標に事業所で新たな取り組みとして毎月新聞を発行し地域に配布している。ボランティア等募集し合同での行事が決定している。又地域の行事等にも積極的に参加し交流を深めて行く。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人の理念や行動指針が明確にあり、その周知に努め日々の関わりや支援を実践している。利用者との距離感や身近に寄り添えるようになど事業所の課題を職員全員で考えて目標を作成し、利用者本位に考え、寄り添える支援を第一に取り組んでいる事業所である。法人内の研修体制も充実し、法人研修部からの出前研修など年間研修計画に沿って整えられており、新人教育にもOJTにより丁寧な指導がなされている。法人内制度である「HLC（ハッピー・ライフ・クリエーター）」も昨年度から開始され、利用者が生き生きと過ごせ、一人ひとりの思いに添えるように職員が成長していける取り組みが展開されている。地域行事への参加や地域と合同で行っているそうめん流しも毎年の恒例として定着しており、毎年多数の地域住民の参加にて地域交流や活動の輪となっている。母体が医療法人であり、医療との連携においても充実した支援体制がある。

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の行動指針となる 生活作り10カ条を基にした生活が当たり前となることを目標にし、職員が全員その言葉の意味を理解、実践する為、管理者やリーダーが中心となり周知徹底に努めている。	法人の理念、生活作り10カ条など行動指針を朝のミーティングで唱和し周知に努めている。フロア毎にも目標を作成している。目標内容も敬語の使用や明るい挨拶など利用者との距離間をしっかりと意識し、尚、身近に寄り添えるようにと事業所の課題を半年ごとに全員で検討し実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域への行事参加やGHと地域との共同行事の開催など交流を行っている。町内会にも加入し地域の一員として交流を行っている。GH新聞で募集をかけたリなど積極的にボランティアの受け入れなども行っている。	とんどなど地域行事への参加や、事業所と地域が共同で行うそうめん流しも毎年の恒例となっており、他事業所からの手伝いもあるなど活動の輪が形成されている。地域に定期的にグループホーム新聞を発行し事業所の取り組みを伝え、地域との交流やボランティアの受け入れにも繋がるなど幅広い効果をj得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	専門的な認知症ケアについては常に向上心を持ち、地域の方からの相談を受けた時は誠意をもって対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議において、GH新聞を配りご利用者の生活状況の報告やケア実践の報告を行い、参加者からの意見や提案を頂きサービスに反映している。	家族代表、地域包括支援センターをはじめ、老人会、町内会其々の会長や近隣の特別養護老人ホーム、障がい者サービス作業所の参加があり、多様な視点を持った意見交換の場となっている。地域情報や抱える問題、災害など共有し検討がなされ、民生委員からは行事参加の促しもあり事業所の活動に活かされている。	家族への参加の声掛けや働きかけを全ての利用家族にしていくことや、会議議事録を送付していくことで、事業所がどのように活動しているか、地域やその他の機関との関わりなど内容が分かることで、家族の会議や事業所への理解も深まり、参加を身近に感じ、より活発な意見や視点で行われることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議への定期参加を促している。運営推進会議の報告にて事業所の取組み実践を伝えている。新聞委員会で作ったGH新聞を回覧板にはさみ、町内の人にもGHのことを知ってもらおうと取り組んでいる。	普段は必要に応じて相談や確認の連絡をとり相互連携を図っている。市や地域包括支援センターが開催している研修会にも参加するほか、他職種の会議で事業所での看取りの事例を発表し協力をj行った例がある。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>事故防止委員会、身体拘束禁止委員会を2か月に一回開催し、議事録を作成後、スタッフに回覧している</p>	<p>年間で研修を計画し、身体拘束防止について理解の向上に努めている。フットセンサー使用のケースはあるが、手すりやタンスなど触る物を移動動線に配置し転倒予防の工夫をするなど状態や様子を把握し個々に合わせ実践している。スピーチロックも職員アンケートをもとに全員で議論し改善に向けて取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>法人内外の研修に参加することで理解を深めると共に、職員皆が注意を払い防止に努めている。また、虐待防止委員会、身体拘束禁止委員会を2か月に一回開催している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部研修に参加することで知識を深めるよう努めている。実際利用されているご利用者様もいらっしゃるため直接学ぶ機会もある。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書および契約書を提示し、具体的に説明するよう努めている。ご利用者様及びご家族様からの要望や疑問等については可能な限りの適切な対応に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年1回家族会を開催し、ご家族様よりの意見を伺う機会を設けると共に、普段より面会時に意見等あれば伺うようにしている。</p>	<p>家族からは行事の参加や家族会、随時の面会にて希望や意向を確認している。医療での不安も受診の様子を細かく伝えることで安心を得ている。利用者からも外へ出たい意向に、日光浴や散歩を積極的に取り入れたり、外出の希望に家族の協力を得て外食をしたりとできる限り実現できるように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月リーダー会議、フロア会議で意見交換できる機会を確保している。	管理者、リーダーより日常の業務においてこまめに職員から意見や話を聞いており、日々改善に繋げている。夜勤の休憩をしっかりとれるようにした例などあり、皆が気付いたことをすぐに報告して議論している所がこの職場のいいところといった職場風土も形成されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務考課表や職務チェックリストによる個々の職員の評価制度を設け、年2回実施昇給等に反映させている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	一年間の研修計画書をたて、研修部を招いて社内で毎月研修を行う計画を立てている。職員の介護知識、技術の把握に努めている。定期的な内部研修により介護技術の向上に努めている。外部研修については法人の研修補助費という制度を利用できる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所が集う研修などに参加し情報交換を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回面会時はご本人様とのコミュニケーションに重点に置き、趣味や楽しみなどをお聞きする。又、担当者を定めその方を深く知れるよう、ご家族様も含め聞き取りを行う。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族様より要望や聞き取りをすると共に、事業所のコンセプトを伝え、場合によってはご家族様にご協力を必要とすることを理解いただく。密な情報交換によりご家族様に安心して頂けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>面会や電話にての相談時には、ご本人様やご家族様等に今必要な支援を把握し、ご本人様にあったサービス利用の提供を支援できるよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>自立支援を念頭におき、共に行うという意識のもと支援している。調理の助言や掃除の手伝いなど教えて頂く機会はたくさんある。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様の面会時には 気軽に情報交換ができるよう普段から関係作りを大切にしている。行事などには参加して頂き、協力して頂くことで思い入れの場所などにご家族様が連れ出して下さることもある。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>随時面会を受け入れている。年賀状など返事をお手伝いしている。</p>	<p>入居時に聞きとりにてライフストーリーシートを作成し、随時内容を追加し個人の生活史を把握できるようにしている。その背景から演劇が好きな方には演劇を見に行き、写真の好きな方には事業所の新聞委員会に参加してもらい、新聞用の写真を撮ってもらうなど個人の馴染みを生活に結び付けた支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関係性を考慮した席順にし、行事などで職員が間に入り取り持つように務めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後、アルバムを作り送らせて頂いている。「使ってください」とカラオケセットを持って来て下さるご家族様もいらっしゃる。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の思いを把握し生活に反映できるよう努めている。意思疎通が困難な方には ストーリーシートを掘り下げることでご本人様の意向に沿えるよう努めている。	日々の関わりや個別に話をしながら利用者の意向を把握していき、一人ひとりに好きなものを提供したり、洗濯物や料理などしたいこと、できることが行える支援に努めている。自身から訴えの少ない方にも家族への聞き取りや好きだったことを職員から提案し利用者本位に寄り添い実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	担当制としており、生活歴を深く掘り下げるように努めている。ご本人様が会話の中で発せられたことも共有する為に、ライフシート、介護手順書、ストーリーシートを使って記録に残すようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日バイタルチェックを行い、心身の現状の把握に努めている。入浴や着替えの時に身体をチェックする。いつもと違う点があればスタッフで共有するようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご家族様に事前に要望や心配ごとなどを面会時や毎月の電話などで確認し、ご家族様の意見を反映しながら、毎月行われるカンファレンスにて職員間で見直しを検討している。体調に急変などあった場合はその都度見直しを行っている。</p>	<p>担当の職員が其々に把握した日々の様子や毎月のモニタリング状況などを計画作成者に提案や相談を行いながらプランの原案を検討し、カンファレンスにて全員で計画を確認し作成している。主治医や訪問看護など医療とも連携が図られており、チームとして介護計画に沿った実践がなされている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常生活の記録だけでなく、ケアプランが実行できているかを確実に書くような書面に変わり、現在はすべての気づきを記入するようにし情報を共有している。毎月担当が介護手順書の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>医師、看護師と連携し必要に応じて支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域への行事参加や、GHと地域との共同行事の開催など交流を行っている。町内会にも加入し地域の一員として交流を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医はご本人様、ご家族様の希望を第一に治療方針を決定し、スムーズな受診ができるようご家族様と面談や電話で情報交換を行っている。</p>	<p>入居時に担当医への変更をお願いしているが、希望によりこれまでの主治医へ受診も可能である。担当医の月2回の往診には薬剤師と訪問看護の同行があり、歯科や皮膚科の往診も其々にある。提携病院との連携や訪問看護も入っており、随時医療との連携が密に図れる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	法人の訪問看護師が週に1回来所し状態観察を行っている。又、治療、ケアの助言や指導を必要に応じて受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の医療機関との協働は連絡を密にとり面会時に状態の聞き取りをしている。加えてJR病院と医療連携の書面を交わしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期ケアについては看取りに関しての指針の記載を基に体制は整っている。他職種連携会議にてGHの看取りについての事例発表を行い、様々な角度からメッセージを頂いた。	入所時に重度化に関しての指針や看取りの指針を説明し、家族の意向を確認している。重度化や状態が変化した時には都度意向を確認する機会を持ち、医療との連携を図りながら適切に対応している。本人や家族の気持ちや思いにできる限り寄り沿った支援の実践がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルだけではなく慌てず対応できるように、看護師より事前に助言や相談を聞いてもらい事故発生時に備えている。法人内での研修などに参加している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	総合消防訓練を年2回行っている。その中で今年から非常災害についても時間をとって頂くようお願いしている。1人につき3日分の備蓄を準備するよう手配を進めている。	年2回総合消防訓練を実施し、その内一度は消防署の立会いのもと避難や災害の対応など訓練を実施し防災意識を高めている。法人事業所内での応援体制もある。昨年の災害を機に備蓄の整備を進め、駐車場も広いことで地域の災害時にも使用してもらえようなど、協力体制を整えている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の尊厳を傷つけないように十分配慮している。排泄介助時はカーテンと扉で仕切り介助できるようにしている。	個人の尊厳を重視し否定をしないこと、利用者同士のもめごとにも両者の立場を考え配慮した対応を心掛けている。排泄の声掛けにも食事やおやつの前に伝え誘導を行い、トイレの目的を押し出した説明ではなく羞恥心や自尊心を損なわない対応がなされている。職員からも接遇に力を入れていきたいと意欲がある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々にあった方法で説明しご利用者様の意思を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日のスケジュールにケアを合わせるのではなく、その日の状況や希望に合ったケアが出来るよう柔軟な対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月訪問美容室に来て頂いている。ご家族様には季節ごとに衣類の衣替えをお願いし、ご本人様の好みの衣類を持ってきて頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様の希望を取り入れたり、食事の準備や配膳など出来る範囲で行って頂いている。	個々に合わせた食事形態での提供と食べ易いように器やコップにも軽いものを使用するなど、配慮がなされている。行事には土用の丑の日の鰻やバーベキュー、ちらし寿司など、普段とは違った趣向にて行い利用者の楽しみになっている。誕生日には担当の職員と個別に好きなものを食べに行く取り組みも好評である。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分摂取は個別に目標摂取があり、ゼリーなどを活用し、場面場面で提供している。食事は個別で状態に合わせた形態にて提供し記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行っている。訪問歯科の 往診が必要な方は、その都度受診して頂き 歯科医より指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレで気持ちよく排泄できるように、個別に排泄パターンを把握するよう努め個々にあった排泄介助を行っている。	定時の声掛けや本人のしぐさや様子、訴えで誘導するほか、排泄チェック表にて確認し、個人の様子や状態に合わせてながら支援を行っている。昼寝の時間を調節することで日中トイレでの排泄が促され、パットにされなくなり自然とトイレにて行えるようになった事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	適切な水分摂取 適度な運動、食材への配慮を日々心がけ自然排便ができるよう留意している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	全て希望に副っているわけではないが、可能な限り希望を聞くよう努めている。個別の状態にあった介助方法にて負担なく気持ちよく入浴して頂けるよう努めている。	週3回、午後からの入浴を実施している。それ以外の時間帯や日にちも希望に応じ柔軟に対応している。一人ひとりの介助の仕方やゆっくり浸かりたい方には時間をかけてなどその方に合わせた入浴を意識し気持ち良く入って頂ける支援に努めている。皮膚疾患にも配慮し注意して対応することを心掛け実施している。	

自己評価	外部評価	項 目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>午後から少し居室で休んで頂ける時間を作っている。夜間の睡眠に妨げにならないよう注意している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬リストは個別ファイルで管理し、職員同士が確認し合い服薬介助を行っている。又、症状の変化等見られた場合には速やかに看護師や医師に連絡を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>洗濯たたみやごみ集め、テーブル拭きなどを主に手伝って頂いている。外気浴や近所へ散歩などへ誘い気分転換を図っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近辺へのお出かけは体調面に考慮して行っている。又、個別での外出や遠方へ出かける時などは、ご家族様にも参加して頂いたりなど協力を頂いている。</p>	<p>時間のある時や状況をみながら日光浴や散歩、外でおやつを食べたりと外気にふれる機会を積極的に持ち、自身で散歩のできる方は自由に近所を散歩されている。年2回大きな外出行事を予定し、縮景園への花見は毎年の恒例になっており、誕生日には外食をするなど利用者の楽しみとなっている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本ホームでは個人のお金は預かっていない。ご本人様が望む買い物などはご家族様へ相談した後、立替にて購入させて頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の取次ぎや手紙などは職員が間に入り支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	室内は換気を行い室温、湿度を管理している。毎月、壁に行事や日常での写真を張らせて頂き季節を感じて頂いている。	リビングは壁面に作品の掲示や、行事や普段の様子での利用者の生き生きとした写真をまとめ飾っていたりとアットホームな和やかな雰囲気であり、ソファが置かれゆっくり居心地よく過ごせる空間となっている。毎日、法人の清掃職員が入り衛生面もしっかり行き届いている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファを配置し一人でゆっくりできる場所となるよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際、ご本人様の使い慣れた家具や飾りなどをお持ち頂き、可能な限り自宅に近い環境作りに務めている。	入居時に本人と家族から話をしっかりと聞き、以前からされていた生活様式に沿う環境整備を勧め、自宅の馴染みのタンスなど調度品の持参をしてもらうなど、利用者が其々に落ち着いてくつろげる生活空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレや居室の位置がわかるように大きく看板や目印を付けている。		

V アウトカム項目(Aユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の行動指針となる 生活作り10カ条を 基にした生活が当たり前となることを目標にし 職員が全員その言葉の意味を理解 実践する為 管理者 リーダーが 中心となり 周知徹底に努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域への行事参加や GHと地域との共同行事の開催など 交流を行っている。 町内会にも加入し 地域の一員として交流を行っている GH新聞で募集をかけたたりなど積極的にボランティアの受け入れなども行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	専門的な認知症ケアについては 常に向上心を持ち 地域の方からの 相談を受けた時は 誠意をもって対応している		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議において GH新聞をくばりご利用者の生活状況報告やケア実践の報告を行い 参加者からの 意見や提案を頂き サービスに反映している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への 定期参加を促している。運営推進会議の報告にて 事業所の取組み 実践を伝えている。新聞委員会で作ったGH新聞を回覧板にはさみ、町内の人にもGHのことを知ってもらおうと取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事故防止委員会、身体拘束禁止委員会を2か月に一回開催し、議事録を作成後、スタッフに回覧している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	法人内外の研修に参加することで理解を深めると共に職員皆が注意を払い防止に努めている。また、虐待防止委員会、身体拘束禁止委員会を2か月に一回開催している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修に参加することで知識を深めるよう努めている。実際利用されている利用者もいらっしゃるため直接学ぶ機会もある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書および圭や所提示し具体的に説明するよう努めている。ご利用者及び家族からの要望や疑問等については可能な限りの適切な対応に努めている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年1回家族会を開催し家族よりの意見を伺う機会を設けると共に普段より面会時に意見等あればうかがうようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月リーダー会議 フロア会議で意見交換できる機会を確保している		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務考課表や職務チェックリストによる個々の職員の評価制度を設け 年2回実施 昇給等に反映させている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	一年間の研修計画書をたて、研修部を招いて社内で毎月研修を行う計画を立てている。職員の介護知識 技術の把握に努めている。定期的な内部研修により 介護技術の向上に努めている。外部研修については 研修補助費という制度を利用できる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センター 居宅介護支援事業所が集う研修などに参加し情報交換を 図っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回面会時はご本人様との コミュニケーションに重点に置き 趣味や楽しみなどをお聞きする。又 担当者を定め その方を 深く知れるよう家族様も含め 聞き取りを行う		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様より 要望や聞き取りをすると共に 事業所のコンセプトを伝え 場合によっては 家族様にご協力を必要とすることを 理解いただく。 密な情報交換により ご家族様に安心して頂けるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面会や電話にての相談時には ご本人やご家族等に今必要な支援を 把握し ご本人にあったサービス利用の提供を支援できるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	自立支援を念頭におき 共に行うという意識のもと 支援している。調理の助言や 掃除の手伝い 教えて頂く機会はたくさんある		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様の面会時には 気軽に情報交換ができるよう ふだんから関係作りを大切にしている。行事などには ご参加して頂き 協力して頂くことで思い入れの場所などに 家族様が連れ出して下さることもある		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	随時面会を 受け入れている。年賀状などお返事をお手伝いしたりしている		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関係性を考慮した席順にし 行事などで職員が間に入り 取り持つように務めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後 アルバムを作り 送らせて頂いている。「使ってください」とカラオケセットを持って来て下さるご家族もいらっしゃる		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いを把握し 生活に反映できるように努めている。意思疎通が困難な方には ストーリーシートを掘り下げることでご本人の意向に沿えるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	担当制としており 生活歴を 深く掘り下げるように 務めている。本人が会話の中で 発せられたことも 共有する為にライフシート、介護手順書、ストーリーシートを使って記録に残すようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日バイタルチェックを行い 心身の現状の把握に努めている。入浴や着替えの時に 身体をチェックする。いつもと違う点があればスタッフで共有するようにしている		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	家族様に 事前に要望や心配ごとなどを面会時や毎月のお電話などでお聞きし 家族の意見を反映しながら 毎月行われるカンファレンスにて職員間で見直しを検討している。体調に急変などあった場合は その都度見直しを行っている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日常生活の記録だけでなく、ケアプランが実行できているかを確実に書くような書面に変わり、現在はすべての気付を記入するようにし 情報を共有している。毎月担当が介護手順書の見直しを行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	医師 看護師と連携し 必要に応じて支援している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域への行事参加や GHと地域との共同行事の開催など 交流を行っている。 町内会にも加入し 地域の一員として交流を行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医はご本人 ご家族様の希望を第一に 治療方針を決定し スムーズな受診ができるよう ご家族様と面談やお電話で情報交換を行っている		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	法人の訪問看護師が 週に1回来所し状態観察を行っている。又治療やケアの助言や指導を必要に応じて受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の医療機関との 協働は 連絡を密にとり 面会時に状態をお聞きしたりしている。加えて JR病院と医療連携の書面を交わしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期ケアについては 看取りに関しての指針の記載に基に体制は整っている。他職種連携会議にてGHの看取りについて事例発表を行い、様々な角度からメッセージをいただいた		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	マニュアルだけではなく 慌てず対応できるように 看護師より 事前に助言や相談を聞いてもらい 事故発生時に備えている。法人内での 研修などに参加。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	総合消防訓練を 年2回 行っている。その中で 今年から 非災害に対してもお時間をとって頂くようお願いしている。1人につき3日分の備蓄を準備するよう手配を進めている		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者の尊厳を 傷つけないように十分配慮している。排泄介助時はカーテンと扉で 仕切り 介助できるようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々にあった方法で説明し 本人の意思を 尊重している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日のスケジュールにケアを 合わせるのではなく その日の 状況や希望に合ったケアが 出来るよう 柔軟な対応を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎月 訪問美容室に来て 頂いている。 家族様には 季節ごとに 衣類の衣替えを お願いし 本人様の 好みの 衣類を 持ってきていただいている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご利用者様の希望を 取り入れたり 食事の準備や 配膳など 出来る範囲で 行っていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分摂取は 個別に目標摂取がありゼリーなどを活用し 場面 場面で提供している。食事は 個別で 状態に合わせた形態で提供し 記録している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後 口腔ケアを 行っている。訪問歯科の 往診が必要な方は その都度 受診して頂き 歯科医より 指導を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	トイレで 気持よく排泄頂く為 個別に排泄パターンを 把握するよう努め 個々にあった排泄介助を 行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	適切な水分摂取 適度な運動 食材への配慮を日々心がけ 自然排便ができるよう 留意している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	全て 希望にそっているわけではないが可能な限り ご希望を聞くよう努めている。個別の状態にあった介助方法にて 負担なく 気持よく入浴して頂けるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>午後から 少し 居室で休んでいただける時間をつくっている。夜間の睡眠に妨げにならないよう 注意している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬リストは 個別ファイルで管理し職員同士が 確認しあい 服薬介助を行っている。又症状の変化等見られた場合には 速やかに 看護師 医師に連絡を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>洗濯たたみやごみ集め テーブル拭きなど 主に手伝っていただいている。外気浴や 近所へ散歩などへ お誘いし 気分転換を はかっている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近辺への お出かけは 体調面に 考慮し 行っている。又 個別での外出や 遠方へ出かける時などは 家族様にも参加して頂いたりなど 協力を 頂いている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本ホームでは 個人のお金は預かっていない。本人が望む買い物などは ご家族様へご相談したのち 立替にて購入させていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の取次ぎや お手紙などは 職員が間に入り 支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	室内は換気を行い 室温 湿度を 管理している。毎月 壁に 行事や日常での写真を張らせて頂き 季節を 感じて頂いている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファを配置し 一人で ゆっくりできる場所となるよう 配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際 本人の 使い慣れた家具や飾りなどをお持ちいただき 可能なかぎり 自宅に近い環境作りに 務めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレや 居室の位置がわかるように 大きく看板や目印を 付けている		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい戸坂

作成日 R1年 7月 25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議に地域の方や家族様の参加が少ない。	参加者を増やす。	地域の方との交流をはかる。事業所新聞等活用し地域に事業所を知って頂く。地域の行事に積極的に参加する。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。